

---

## 資格

愛原デューク

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

資格

### 【Nコード】

N6318F

### 【作者名】

愛原デューク

### 【あらすじ】

友達の好きと恋愛の好きが分からなかった自分の資格についてかな？読んでくださった人は、絶対にこんな恋をしないで下さい！自分の気持ちを伝えるのは難しいけど…自分に正直に生きて下さい！

もし、自分のして来た事がアナタの未来に少ししか迷惑がからないのなら、自分の気持ちを言ってもいいですか…？

私は、人前で泣く事がなかった！あっても、『友達』とかで『好きな人』の前や『彼氏』の前じゃなかった！私の場合、彼氏って、本当に好きな人じゃなかった！例えば、友達の好きと恋愛の好きが分からなかった！だから、友達に好きって、言うように、本当に軽く『友達みたいで好き』と言ってしまったから、付き合い始めたり、好きでもないのに、自分以外の人を傷つけないでほしくて付き合つて、傷つけられて、そんな事が多かった！でも、あの人に会ったのは、高校の帰り道に、知らない人達に絡まれた時だった！その時の自分は、本当にダサくて、暗くて、彼氏が居ても、女を感じさせなかったし、本当に自分で言うのも変かもしれないけど、『キモ』だった。

だから、その絡んできた人達も『遊び』で、『犯そか？』や『こういう女の方が良い声出るよ』など、言われたけど、そんな事はある意味慣れいるつもりだったけど…涙が出そうになった！その時に、初めて助けてくれた！一言『やめろ』。

泣いてるじゃん』って、冗談っぽく助けてくれた事が、びっくりで嬉しかった！でも、この時の自分には、本当に好きな人が居たからお礼もできなかった！それから、その人にも少しからかわれるようになった！名前は、知らないけど、名字なら知っている！時間は、戻らないけど、もし、あの時に戻ってくれたら、『お礼』とか『友達』になりたい！でも、そんなの『夢』だけど！それに、自分にはそんな『資格ない』から！恋愛には、『資格』なんてないって言うけど…自分には、あるから！今は、『好き』とか『愛してる』とか言えない！だから、今の気持ちを大切にして下さい！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6318f/>

---

資格

2010年11月14日09時22分発行